

5-3 海上拠点の整備

■現況と課題

地方港湾浦河港は、建設資材や鉱石などを積み出す物流の商港として整備を進めていますが、港湾の外郭施設である防波堤が未整備のため、港内静穏度が十分に確保できず、異常気象・荒天時における貨物船の避泊が困難であり、安全な荷役作業に支障をきたしていることから、その整備が求められています。

浦河港は、太平洋の豊かな漁場を抱える水産業の拠点港であることから、沿岸漁業の振興を含めた施設整備が求められています。

港湾整備については、「選択」と「集中」の中で地方港湾の整備に対する予算の確保が厳しい状況であることから、より実効性のある整備を実施するため、浦河港を利用している方々の協力により浦河港港湾長期構想の中期的見直しを行いました。その結果を踏まえ、整備を推進していきます。

■今後の方向性

- (1) 上架機能確保のため、南-3.5 船揚場の改良を実施し、リフト式上架施設の整備を進めていきます。
- (2) 安全な航路の確保と港内静穏度向上のため、南防波堤の延伸や防波堤(西島)の設置をより経済的・効率的に整備し、港湾利用の増加を図ります。

■実施事業

- ・港湾施設補修
- ・防波堤整備